

## ⑤ 砂防仮締切工における安全対策について

坂本土木(株) 跡津川流木対策工工事

(工期：平成23年3月12日～平成24年1月5日)

現場代理人 岡田 壽男

安全管理担当者 ○坂下 武



### 1) はじめに

本工事は、跡津川からの流木被害軽減の為、既設佐古副堰堤に流木対策施設を増設する工事である。本報告は、取壊工に伴う砂防仮締切りの紹介と、安全対策について報告します。

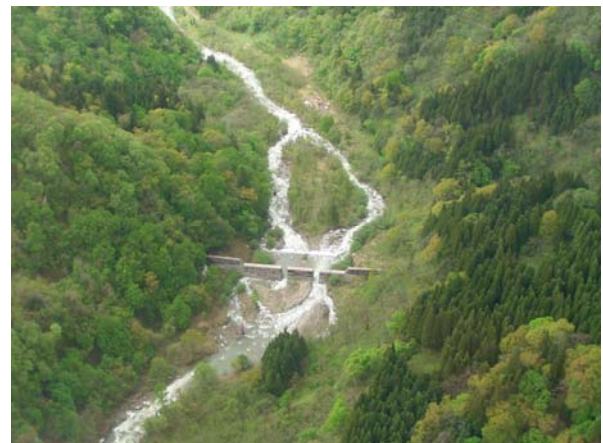


### 2) 工事概要

|        |    |
|--------|----|
| 砂防土工   | 1式 |
| 構造物撤去工 | 1式 |
| 付帯道路工  | 1式 |
| 仮設工    | 1式 |



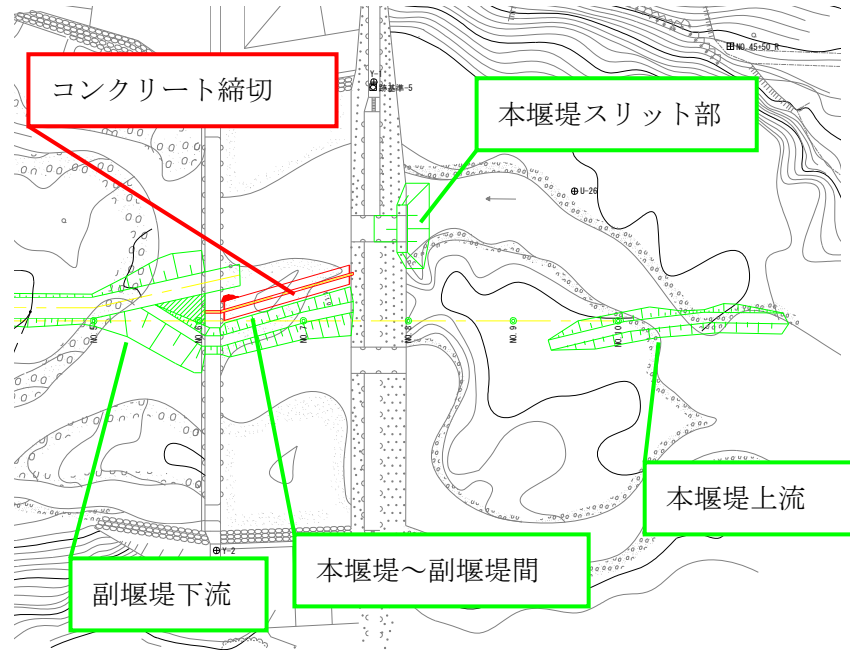
拡大図



施工箇所  
(上空より現場を望む)

### 3) 仮設計画の検討

当該施工箇所の流域は土石流対象区域外であった。  
仮締切工の設計対象流量条件を満たすよう、仮締切盛土の高さ等について検討  
を行い施工した。



【 仮締切り施工箇所位置図 】

### 4) 出水時の締切崩壊対策

巨石により仮締切盛土の表面を保護して出水時の土砂流失防止対策及び崩壊防止  
対策を行った。



本堰堤スリット部(上流)



本堰堤スリット部(下流)



本堰堤上流



本堰堤～副堰堤間

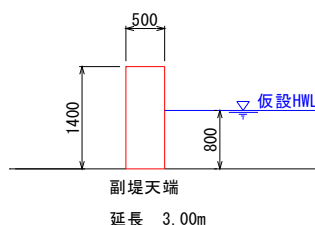


副堰堤下流

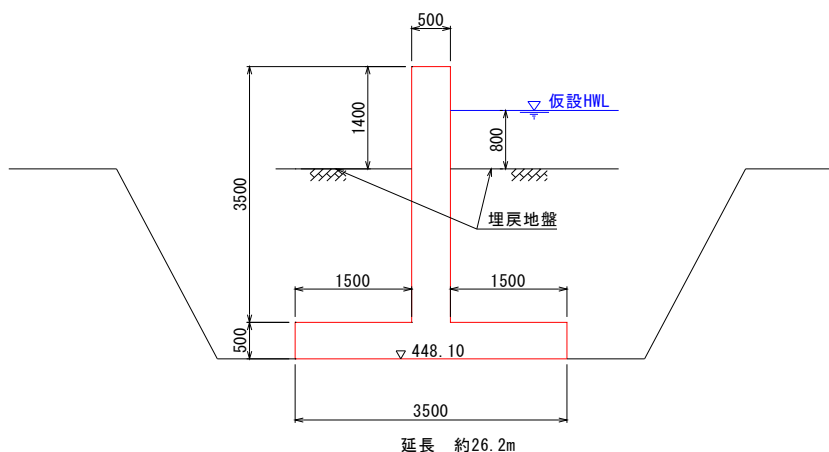
## 5) コンクリート締切りの安全対策

当初計画は、土砂盛土による仮締切工の施工でしたが、当該流域の流量が多い事や事業が数ヶ年に渡る事を考慮して、コンクリートによる仮締切り施工を行う事に変更した。(詳細については、下記のとおり)

嵩上式区間 断面図



逆T式区間 断面図



この仮締切工の施工に伴い、高所作業（最大高低差4 m）が発生した。鉄筋組立や型枠組立作業時には足場が必要となったため、高所からの転落・飛来落下等の災害防止に留意して、以下の安全対策を講じた。

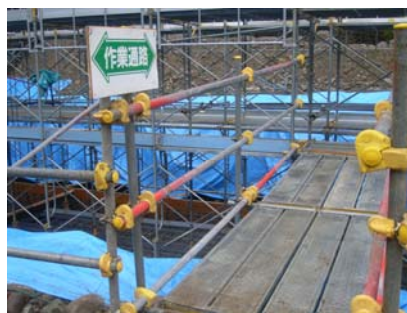
## 6) 留意した点

- ① 足場上の過積載による倒壊防止
- ② 足場の転倒防止

～ 安全対策 ～



- ・ 最大積載荷重や注意喚起看板を掲示し、作業者の安全意識を向上させた。
- ・ 足場上に物を置かないように指導を行い作業通路の確保と落下物による事故防止対策を行った。
- ・ 安全帯の使用を徹底させた。





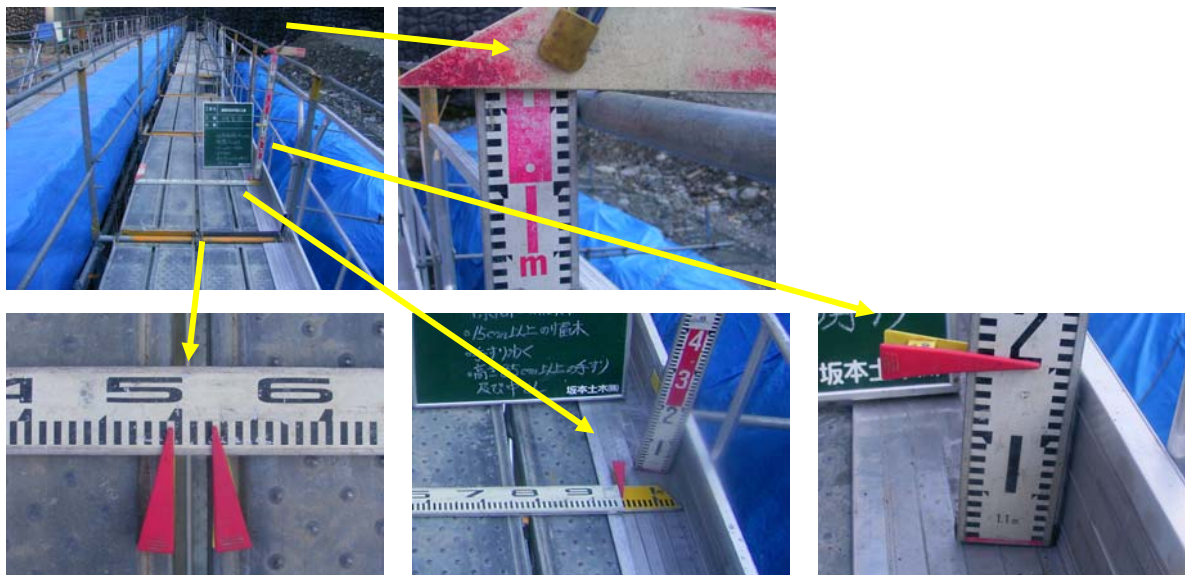
③足場からの飛来・落下災害の防止

④足場からの転落災害防止

～ 対 策 ～

・足場の点検については、以下の点に留意した。

足場板の幅40cm以上、隙間3cm以下、15cm以上の幅木、  
高さ85cm以上の手すり及び中さん



## 6) 結 果

以上の安全対策により、作業員一人一人の安全意識を向上させることができ、転落及び飛来・落下等の事故もなく、本工事を終える事ができました。

本工事に対して、熱心にご指導頂いた監督職員の方々をはじめ、工事にご協力して頂いた工事関係者の皆様方に感謝いたします。

コンリート締切工

完 成

